

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)

たかはしがわとうざいようすいしゅはいすいしせつ

高梁川東西用水取配水施設

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



場所

・倉敷市酒津



時代

・大正時代



指定年月日

・平成28(2016)年
7月25日



所有

・高梁川東西用水組合



見学

見学可



この建造物について

たかはしがわとうざいようすいしゅはいすいしせつ

高梁川東西用水取配水施設は、高梁川の下流にある農業用水施設です。

治水を目的とした高梁川改修工事の一環として建設され、樋門は内務省大阪土木出張所の設

計により大正13(1924)年に、事務所は同15(1926)年に完成しました。

樋門はいずれも鉄筋コンクリート造で、酒津取水樋門は表面全体に花崗岩の石を積んでおり、南配水樋門は15連からなる大規模な構造物です。

高梁川東西用水取配水施設は、近代農業用水施設のうち、大正期における最大規模のものとして重要なものです。

また、大正期に全国的に導入が進められた鉄筋コンクリート造樋門の現存例としても貴重であり、農業土木技術史上価値が高いものです。